

二学期の振り返り

今年度、本校は開校 12年目を迎え、これまで築き上げてきた実績を基に、「Change:変化への対応・踏襲にとらわれない柔軟性」「Challenge:創造性を豊かにした新しい挑戦」「Connect:地域等とつなぐ・つながる」をスローガンとして、教育活動を展開しています。

今年度、地域や外部の意見を基に学校経営計画の重点項目として「人権に配慮した児童・生徒指導の徹底」「学びの連続性を重視したキャリア教育の推進」「デジタル等を活用した教職員の授業力及び専門性の向上」「外部人材活用による教育課程の活性化」「情報発信の充実・外部支援」に取り組んでいます。

また、今学期は、防災教育においてより一層地域や関係機関との連携を強化した取組を行ってきました。主な取組を紹介させていただきます。

①キャリア教育の推進・進路に関する連携



10月2日（木） ジプラルタ生命株式会社による
タイピング教室



8月21日（木） 教職員向け進路先見学会



12月9日（火）江戸川区就労フェア

キャリア教育推進の一環として外部との連携を強化し、進路指導や保護者への進路支援に取り組んでいます。10月2日（木）、ジプラルタ生命株式会社の方に講師として御来校いただき、S部門高等部主にB・Cグループ対象にタイピング教室を実施しました。タイピングの実技に加えて、社会に出た際のビジネスマナーについても学ぶことができました。

教員向け夏季研修の一環として、8月21日（木）、「リベルラル株式会社」に企業見学に行かせていただきました。小学部の教員も多く参加し、キャリア教育の視点において大事な視点について学びを深めることができました。この他、保護者向け施設見学会を12月22日（月）実施しました。PC工房（就労継続支援B型）、小松川支援センター（生活介護、地域活動支援センターⅡ型）を見学させていただき、16名の方に御参加いただきました。

12月9日（火）、本校生徒が江戸川区就労フェアに参加しました。今年度は昨年度から参加しているS部門高等部Cグループに加えて、N部門中学部3年Aグループも希望者を中心に参加をしてきました。様々な事業所のブースを見学したり、実際に事業所の方の説明を聴いたりする中で、進路について深く考える機会をいただける体験となりました。

②デジタル等を活用した教職員研修と授業の様子

【ICT支援員によるデジタル活用の実践研修会】



12月1日（月）、本校デジタルセンター及び株式会社内田洋行の方にお越しいただき、ICT活用の研修を実施しました。デジタル機器の活用の基礎や、教材アプリ、様々な入力ツールなど、たくさんのブースを設定し、教職員が各ブースを自由に行き来し、体験しながら学ぶ形で行いました。得た知識を様々な場面で、児童・生徒の支援に生かしています。

【デジタル機器を活用した授業】



指導者として授業での活用する力の育成と同時に、児童・生徒が授業で活用していくことを合わせ、授業力及び専門性の向上を目指しています。また、デジタルだけでなくリアルとの融合を目指して研鑽しています。

③社会資源（施設・外部人材）活用による教育課程の活性化

【パラスポーツによる交流】



N部門中学部2年生は10月29日(水)、本校にて、上一色中学校とのパラスポーツ交流学習を実施しました。ユニバーサル野球盤や、東京ヴェルディ講師によるデフサッカー教室、江戸川区文化共育部スポーツ振興課パラスポーツ係と連携したボッチャなど、様々な競技、活動を通して、交流を深めました。どの生徒も生き生きと参加していました。



11月21日(金)・22日(土)、虹輝祭において、第二体育館を会場とし、パラスポーツ体験を実施しました。江戸川区文化共育部スポーツ振興課江戸川区パラスポーツ係の方による「ボルレッチ」「雨どいボッチャ」「サッカー(シュート)」「コーンホール」「バスケットボール(シュート、ミニボール)」のコーナーと、株式会社西川精機製作所の御協力のもと、「アーチェリー」のコーナーも設置しました。児童・生徒は、様々なパラスポーツ体験を楽しむことができ、笑顔が溢れる取組となりました。



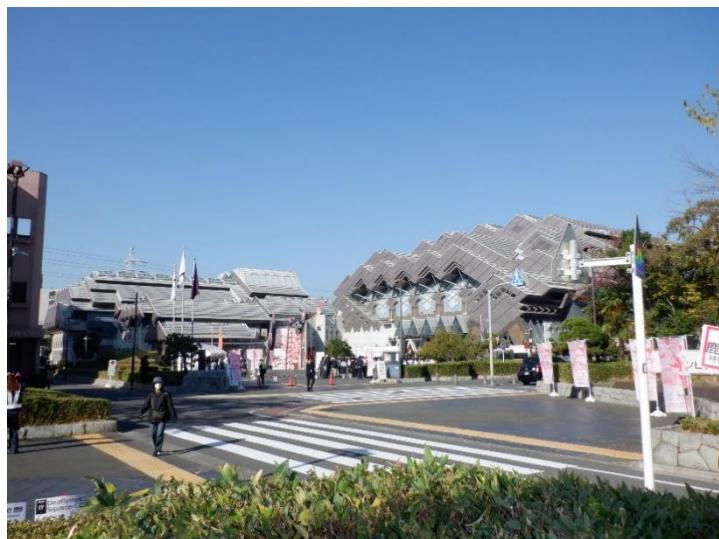
12月23日(火)、S部門小・中・高等部Bグループを中心に、ユニバーサル野球盤の交流学習を実施しました。

多くの卒業生の就労先である「希望の家」や「みんなの家」、そして「アゼリー江戸川」の方々にお越しいただき、パラスポーツをとおして交流を深めました。

ユニバーサル野球においては、N部門ともに、堀江車輪電装株式会社に御協力をいただきました。



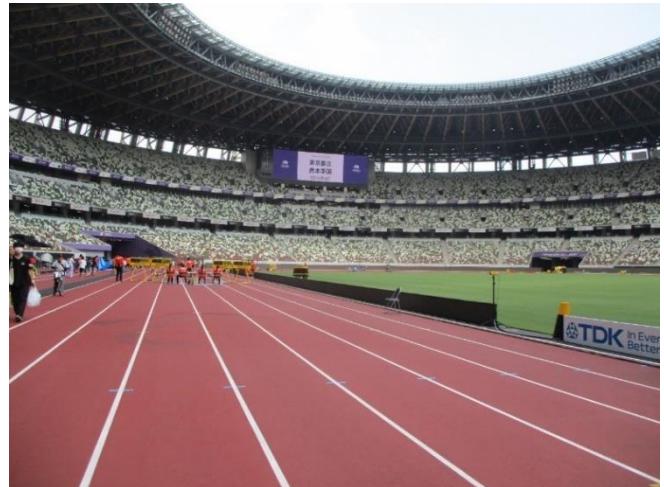
12月5日（金）、S部門中学部及び高等部のB・Cグループは、パラリンピック柔道体験教室を実施しました。NPO 法人日本視覚障害者柔道連盟の監督と選手の方2名に講師としてお越しいただきました。実際に柔道の実技を見たり、実際に柔道着を着用して、寝技や投げ技の体験をすることができました。メダルにも触れさせていただくなど、とても貴重な体験をさせていただきました。



11月17日（月）、S部門小学部Cグループが、足立区にある東京武道館で開催されたデフリンピック柔道の観戦に行ってきました。
デフリンピック競技の観戦を通して、デフリンピックへの興味・関心を高め、手話や聴覚に障害のある方々への理解を深めることができました。



【世界陸上リアル教室】



9月16日（火）、N部門小学部5年生が、国立競技場で開催された、世界陸上リアル教室に参加してきました。

34年振りに東京で開催された世界陸上。児童皆で世界のトップアスリートが実際に走るトラックを走り、「本物」の雰囲気を体験することができました。

【移動動物園】



12月2日（火）・4日（木）の2日間に渡って、江戸川区環境財団及び江戸川区篠崎ポニーランド、江戸川区自然動物園と連携し、移動動物園を実施しました。TCA東京ECO動物海洋専門学校の学生さんもボランティアで参加してくださいました。二年目の取組となり、児童・生徒は期待感をもって動物たちと触れ合うことができ、貴重な体験をすることができました。

芸術鑑賞会「三菱地所 Shallwe コンサート」三菱地所株式会社と連携して実施】



12月19日（金）、三菱地所株式会社と連携し、本校S棟体育館にて ShallWe コンサートを実施しました。東京21世紀管弦楽団アンサンブル・ルーキスに御公演いただきました。フルート、ヴィオラ、ヴァイオリン、ピアノ、チェロの編成で、クラシックやポップミュージック、鹿本学園の校歌などを演奏していただきました。美しい音色を味わうことができました。

④地域・関係機関と連携した防災教育の取組の強化

【救急シミュレーター贈呈式・夏季拡大危機管理委員会】



8月26日（火）、救命訓練シミュレーター贈呈式を行いました。

東京東江戸川ロータリークラブ様より、救命訓練シミュレーター（訓練用人形）を御寄贈いただきました。本校で贈呈式を行い、本一色自治会の方、江戸川区危機管理部の方、株式会社京都科学の方々に御参加いただき、教職員は御寄贈いただいたシミュレーター（人形）を用いた心肺蘇生法の訓練を行いました。



贈呈式に引き続き、夏季拡大危機管理委員会を実施し、企画室班、食糧班、物資班、避難所支援班、児童生徒安否確認班、救護班に分かれて研修を行いました。非常時発電機の動作確認や、食糧の消費期限別の入替作業などに加え、第二体育館では、実際の福祉避難所開設を想定し、江戸川区危機管理部の方と連携しながら、テント設営、ベルトパーテーションによる区画整理のシミュレーションを行いました。

【地域・関係機関等と連携した防災訓練】



9月12日（金）、地域・関係機関等と連携した防災訓練を実施しました。

南小岩消防署に御協力いただき、煙ハウス、初期消火訓練を実施しました。

また、テント体験、非常食体験に加え、PTAの方による心肺蘇生の訓練を実施し、生徒が見学する学習を実施しました。

【本一色自治会防災訓練】



11月9日(日)、本一色自治会の防災訓練に本校の生活指導部教員等が参加しました。

マンホールトイレや、かまどベンチ、炊出し訓練など、参考にさせていただきたい取組をたくさん知ることができました。

今後も情報を共有し、地域と共に防災教育の強化に取り組みます。

【江戸川区防災・防犯F E S】



11月16日(日)、江戸川区防災・防犯F E Sが実施されました。本校は、3力所ある会場のうちの、葛西小・中学校の体育館にブースを出展いたしました。

本校の防災用品、非常食、非常用テント、救命救急シミュレーター人形、備蓄品を搭載した大型カート等を展示し、110名ほどの方に御来場いただき、小さなお子さんから大人の方まで、多くの方に心肺蘇生法の体験等に御参加いただきました。

【避難訓練（地震・医療的ケア機器トラブル想定訓練）】



本校では、毎月1回年間で計12回の避難訓練を実施しています。想定内容は、地震、火災、浸水、Jアラートです。今年度は、児童・生徒在校時における不審者対応訓練も実施しました。毎月の避難行動の学習を通して、児童・生徒は災害時の約束ごとを意識し、落ち着いて避難することができるようになってきました。

12月の避難訓練では、医療的ケア機器のトラブルがあった場合を想定した訓練を実施しました。また、第二回防災教育推進委員会を同時開催し、小岩消防署南小岩出張所長様、東京消防庁小岩消防署警防課防災安全係地域防災担当係長様、江戸川区危機管理室防災危機管理課計画係係長様、江戸川区危機管理部災害要配慮者支援課災害要配慮者支援係係長様、本一色自治会長様、本校PTA会長様に訓練の様子を御覧いただき、終了の際、御講評をいただきました。

また、本校の多くの児童・生徒が支援いただいている移動支援事業所の8名の方にもお越しいただき、避難訓練見学及び本校防災教育の取組についての説明会を実施し、情報の共有を行うことができました。

今後も、関係機関等の皆様と連携をより強化し、児童・生徒の命を守る取組を行っていきます。

⑤情報発信の充実、地域との連携・外部支援

【ホームページ及びアプリケーションの活用による情報発信】

The screenshot shows the homepage of the Shikamoto Today website. On the right side, there is a sidebar menu with various links. One of the links, "【同窓会】「わ」の会のページ" (Alumni Association 'wa' Meeting Page), is highlighted with a blue arrow pointing from the left side of the image.

This screenshot shows the Sakurakenkyo application interface. It features a sidebar on the left with navigation options like "保護者連絡", "メッセージ", "メッセージ送信", "資料管理", and "資料登録". The main area displays a list of documents with columns for "件名" (Title), "登録日時" (Registration Date/Time), and "最終更新日時" (Last Update Date/Time). A large pink banner at the bottom of the sidebar says "新着情報" (New Information).

The screenshot shows the front page of the Shikamoto Today newsletter. The title "学びの虹" (Rainbow of Learning) is prominently displayed in the center. Below it, the date "令和7年4月8日号" (April 8, 2025) and the editor "校長 堀江 浩子" (Principal Horie Hiroko) are listed. The newsletter also includes the address "東京都立鹿本学園 東京都江戸川区豊島一丁目2-24-11 電話 03-3653-7355" and a QR code.

This screenshot shows the 'Shikamoto Today' website's '進路だより' (Career Guidance) section. The title '進路だより' is at the top. Below it, there is a summary of the '総合支援法で定められた適応施設' (Facilities designated by the Comprehensive Support Law) and a detailed description of the '生涯心理保健者施設(成人通所)' (Lifelong Psychological Health Care Facility (Adult Daycare)). The text discusses the shift from medical care to psychological support and the role of the 'マイクロバスト型' (Microbus-type) delivery service. At the bottom, there is a photo of a presentation at the '江戸川区障害者福祉会議' (Edogawa区障害者福祉会議) and a summary of the meeting.

The screenshot shows the 'Shikamoto Today' website's '生活指導NEWS' (Life Guidance NEWS) section. The title '生活指導NEWS' is at the top. Below it, there is a summary of the '夏休みが始まります' (Summer Break Starts) and a detailed description of the '夏休みの約束' (Summer Break Promises). The text discusses the importance of safety during summer break, including advice on staying cool, drinking water, and遵守交通ルール (Obeying traffic rules). There are also illustrations of a sleeping person, a person drinking water, and a car.

本校ホームページ「ShikamotoToday」において、日々の教育活動について情報を発信しております。(令和7年12月25日(木)時点で57件アップ) また、ホームページトップ画面に、本校同窓会「『わ』の会」のリンクバーを貼り、情報の共有を行っております。

連絡ツールアプリケーション「さくら連絡網」では、保護者の方に加えて、放課後等ディサービス事業所ともつながることで、情報の迅速な共有を図っております。

また、学校だよりをはじめとし、ほけんだより、進路だより、生活指導ニュース等、通信を学期に一回以上発行し、様々な教育活動についての情報を発信しています。

【主な来校者数】

本校は、「開かれた学校」を目指し、様々な行事を保護者の皆様や地域の方に開放する取組を行っておりま
す。また、関係諸機関や近隣学校と連携を取るために各種説明会や研修会などを実施しております。

	日時	行事名	参加者・来校者数
1	5月8日（木）	事業所連絡会	67名
2	5月22日（木）	松江第三地区民生児童委員来校	26名
3	5月27日（火）・6月3日（火）	福祉事業所来校（希望の家・えがおの家・虹の家・江戸川区・みんなの家・さくらの家・障害者支援ハウス）	18名
4	6月2日（月）・5日（木）・6日（金）	学校公開	248名
5	6月30日（月）	医療的ケア事業所連絡会	36名
6	7月28日（月）・30日（水）	夏季理解推進研修 於：東部フレンドホール	114名
7	8月26日（火）	救命訓練シミュレーター寄贈式	18名
8	9月9日（火）	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室	6名
9	9月12日（金）	地域・関係機関と連携した防災訓練	24名
10	9月29日（月）	東京都手をつなぐ育成会	15名
11	10月2日（木）	ジブラルタ生命保険会社出前授業・弘済会	8名
12	10月11日（土）	江戸川区パラスポーツ交流会※江戸川区主催	45名
13	10月16日（木）	緊急的増築棟建設計画説明会	15名
14	11月7日（金）	南篠崎小学校 校長及びコーディネーター等	9名
15	11月12日（水）	支援ハウス	7名
16	11月12日（水）	白鷺特別支援学校出前授業	8名
17	11月16日（日）	江戸川区防災・防犯FES（於：江戸川区立葛西小・中学校）	110名
18	11月26日（水）	医療的ケア専用通学車両視察（衆議院議員・都議会議員・千葉県議会議員・市川市議会議員・浦安市議会議員・都立学校教育部3名）	9名
19	11月27日（木）	保護者学習会	40名
20	12月2日（火）・4日（木）	移動動物園	76名
21	12月3日（水）	避難訓練・第二回防災教育推進委員会	24名
22	12月9日（火）	学校公開	70名
22	12月19日（金）	地区校長会	8名

合計1001名
(令和7年12月25日現在)

【特別支援教育のセンター的機能】

センター的機能の役割として、近隣の小中学校へ行き、コーディネーターが巡回指導や研修会を実施しています。特別な支援を要する児童・生徒が地域で豊かに暮らせるよう特別支援の知識・ノウハウを共有し、「誰も取り残さず、全ての子供たちの可能性を引き出す学び」を地域全体で支えていきます。
2学期終了期間までの研修会等講師件数を下記の表に示しております。

【主な支援先】

	団体	日時	実施者	参加者数
①	江戸川区コーディネーター研修	5月 9日（金）	コーディネーター	100名
②	江戸川区立春江中学校 理解推進授業	5月14日（水）	コーディネーター	139名
③	江戸川区立春江中学校 校内研修会	5月14日（水）	コーディネーター	23名
④	江戸川区特別支援教育推進研修	5月23日（月）	コーディネーター	24名
⑤	江戸川区特別支援教育推進研修	6月23日（月）	コーディネーター	40名
⑥	慶應義塾大学 小児看護学演習 校長	6月24日（火）	校長	100名
⑦	特別支援教室保護者学習・相談会	7月31日（木）	コーディネーター	50名
⑧	保育園発達支援コーディネーターステップアップ研修	8月27日（水）	コーディネーター	40名
⑨	江戸川区立清新ふたば小学校校内研修会	8月28日（木）	コーディネーター	30名
⑩	江戸川区立南葛西第二中学校特別支援教育研修会	8月29日（金）	コーディネーター	20名
⑪	東京医薬看護専門学校講義 校長	11月13日（木）	校長	35名
⑫	江戸川区立東葛西中学校	12月16日（火）	コーディネーター	20名
			合計	621名
			令和7年12月25日現在	

【外部人材育成】

大学の教育実習や介護等体験を始めとし、看護専門学校や医大の体験実習、栄養教諭実習などを積極的に実施し、外部人材の育成に力を入れることで、特別支援教育の啓発につなげています。

校種	体験内容	人数
大学	教育実習	5名
	介護等体験	432名
	療育実習（慈恵会医科大学）	6名
専門学校	見学実習（東京医薬看護専門学校）	36名
高校	臨地実習（愛国学園高等学校）	35名
栄養士	栄養実習	1名
	合計	515名（12月25日現在）